



台北文湖扶輪社 / 福島ロータリークラブ 友好クラブ締結式



「友好クラブ締結式」報告

幡 研一 会長

去る9月21日から24日にかけて、台北を訪問してきました。台北松山空港には王 素蓉会長、郭 継勳創立会長、趙 縦新直前会長、方 瑞嵐国際奉仕委員長など12名の文湖ロータリーの会員が日本と台湾の国旗を掲げて出迎えてくれました。22日、台北文湖ロータリークラブの例会で、両クラブの友好クラブ締結の調印式が行われました。RI3520地区ガバナーの林 華明様を始め、台北市内8クラブの会長・幹事、台北東南ロータリークラブからは7名、福島ロータリークラブから26名、それに文湖ロータリークラブの会員等総勢100名程度の参列の下、厳粛に締結式が行われました。

日本、台湾両国の国歌斉唱、ロータリーソングに始まり、RI3520地区、林 華明ガバナー、RI2530地区、阿久津 肇パストガバナーの挨拶や、両クラブの会長の挨拶

等の後、調印式が行われました。その晩は文湖ロータリークラブ主催の歓迎会が行われました。文湖ロータリークラブは年齢層が福島より若く、舞台上で歌って踊ってさながらカラオケ大会の様でした。ガバナーも張り切って歌っておりました。福島ロータリークラブの参加者も負けずに歌って踊っておりました。翌日の福島ロータリークラブ主催の食事会では、両クラブの面々は、すでに旧知の間柄のように盛り上がり各テーブルでは乾杯の大合唱でした。両クラブの最初の出会いとしては大成功と思いました。今後お互いの友好を深めて、国際奉仕事業をしたいと思えます。

来年3月の福島ロータリークラブ創立65周年記念式典での再会を約束してきました。帰日も松山空港まで多くの会員が見送りをして頂きました。

なお、今回の台風21号の被害について先日問い合わせたところ、台北ではそれ程大きな被害はなかったと林ガバナーや王会長、方国際奉仕委員長からメールを頂きました。



「友好クラブ締結式」報告

国際奉仕委員会

後藤 忠久 委員長

この度、「台北文湖扶輪社」と「福島ロータリークラブ」の友好クラブを締結するために、9月21日から24日までの日程で、幡 研一会長ご夫妻、阿久津 肇パストガバナーご夫妻を始め、総勢26名で「台北文湖扶輪社」を訪問して参りました。

21日(月)の21時に羽田発JAL099便で台北 松山空港に到着しましたが、「台北文湖扶輪社」の王 素蓉(Susan)会長、また、多くのメンバーの出迎えを受けました。

22日(火)は、12時より「台北文湖扶輪社」の第118回例会と「福島ロータリークラブ」の「友好クラブの調印式」に臨みました。

初めに、両国の国歌、並びにロータリーソングを斉唱し、始まりました。

次に、台北文湖扶輪社 王会長から福島ロータリークラブのメンバーに対し、来訪への歓迎の言葉と福島中央ロータリークラブの呉竹 弘吉様と台北東南扶輪社の陳 宏銘様の両クラブへの仲介への感謝、また、RI3520地区 林 華明(Venture)ガバナーの協力への感謝、両クラブの国際奉仕委員長への感謝の言葉がありました。

そして、今回の友好クラブの締結により、両クラブの国際連携でロータリークラブの精神を共同で発揮しましょうと挨拶されました。

最後に、来年3月の福島ロータリークラブの創立65周年には、是非、訪問させて頂きたいとの旨の発言で挨拶が終了いたしました。

次に、林 華明ガバナーよりご挨拶があり、両クラブの「友好クラブの締結」が両国の親善発展にさらに貢献できることを歓迎する旨の発言がありました。

次に、阿久津 肇パストガバナーより福島ロータリークラブの沿革について、パワーポイントを用いて、台湾のロータリアンの皆様にご説明を頂きました。

次に、福島ロータリークラブを代表して幡 研一会長よりご挨拶を頂きました。幡会長は、まず、「東日本大震災」の際の台湾からのいち早い支援に対しての感

謝の言葉を述べられ、今まで姉妹クラブを有していなかった福島ロータリークラブに対して、この度の友好クラブの締結にご尽力頂いた、福島中央ロータリークラブ 呉竹 弘吉様、台北東南扶輪社 陳 宏銘様に対し、感謝の言葉を述べられました。そして今後、台北文湖扶輪社との友好関係を深めて、共同で国際的な奉仕活動を行いたい旨のご挨拶をされました。また、最後に来年3月の福島ロータリークラブの創立65周年に是非参加して頂くよう挨拶されました。

次に、国際奉仕委員長 後藤 忠久、今回の両クラブの友好クラブ締結の仲介人である台北東南扶輪社 陳 宏銘様、福島中央ロータリークラブ 呉竹 弘吉様から挨拶がありました。

次に、調印式が行われ、王 素蓉会長、幡 研一会長、林 華明ガバナー、阿久津 肇パストガバナーにより「友好クラブ 締結同意書」に署名が行われました。

次に、両クラブ会長により記念品の交換があり、台北文湖扶輪社 王 素蓉会長の閉会点鐘で会が終了致しました。

18時よりは、台北文湖扶輪社の主催による「Welcome Party」が開催されました。明湖中学校の生徒さんによるオーケストラの演奏や高校生のパフォーマンス、また、メンバーのご婦人により歌の披露など楽しいひとときを過ごさせて頂きました。また、両クラブの9月生まれのお誕生日のお祝いも催され、バースデーケーキを切り、和やかな雰囲気を楽しみました。

23日(水)18時から、福島ロータリークラブの主催の「懇親会」を開催致しました。林 華明ガバナー、台北文湖扶輪社の10名のメンバーが参加され、大変楽しく、また、友情を深め合う懇親会になりました。

最後は、来年の再会を祈念して、古俣 猛次年度会長の音頭で一本締めをして会を終了致しました。

24日(木)は、14時20分松山空港発のJAL098便にて帰国の途に就きましたが、台北文湖扶輪社 王 素蓉会長、また、多くのメンバーが空港まで見送りに来てくださり、来年の再会を約束して帰国致しました。

私にとって海外のクラブとの友好連携に係わったのは、フィリピン マリキナロータリークラブに続いて2回目ですが、改めてロータリークラブには、国境は無いという思いをさせられた訪問でした。



